

## 007 yuko

題名	作者	コメント	評価
きのね (上下)	宮尾登美子	文句なしにおもしろい。明らかに実在の人物を題材にしてあるので、興味深く読んだ。歌舞伎に興味がある人もそうでない人も楽しめると思う。それにしても宮尾登美子という人ってすごいと思う。こんな物を書ける人になりたい…北海道にある宮尾登美子館に行ってみたくて～す。	☆☆☆☆ ☆
影絵	〃	宮尾フリークとしては読んでいないもののかたっぱしから読みたいと思い短編2冊を読んだ。こちらは自伝的短編も加えた三篇と「婦人公論」新人賞の「連」を加えた四篇。連は独特の語り口で興味深かった。	☆☆☆
楊梅の 熟れる頃	〃	作品の元になったであろう女達の物語 (ルポルタージュフィクション) 時代設定がわかりにくい感じもあって、今ひとつ乗り切れなかった。	☆
向田邦子の 恋文	向田 和子	向田邦子さんの恋の相手妻あるカメラマンとのやり取りと写真を妹の和子さんがまとめたもの。イメージの中の向田さんとは何処か違う若き日の向田さんの写真の、カメラマンに向かう目の優しさがとても良い。	☆☆
津山 三千人殺し	筑波 昭	「八墓村」のモデルとなった史上最悪の惨劇を犯人の子供時代を交えながら、何故起きたのかを解き明かした本、でもどんな事にしても悪事は悪事だから…後味が良くない。	☆
歌舞伎 「花」のある 話	小山 観翁	「きのね」で歌舞伎役者についてもう少し知りたくなり買った本。解りやすい語り口で歌舞伎の事を教えてくれる。写真もあって楽しめた。	☆☆☆☆
プリズン ホテル1 (夏)	浅田 次郎	面白かった。「天切松」「鉄道員」も良かったけど、やくざの大親分が建てた、リゾートホテル「奥湯元あじさいホテル」これが任侠団体専用のホテルで世間ではプリズンホテルとよばれている…間違えて宿泊した客やホテルの従業員の右往左往がおもしろい。あと続編で秋、冬、春とあるので続いて読む予定。	☆☆☆☆